

課題番号：28

課題名		廃炉プロセス「輸送・保管・貯蔵（燃料デブリに由来する $\alpha$ 核種が含まれる廃棄物含む）」、「処理・処分・環境回復（燃料デブリに由来する $\alpha$ 核種が含まれる廃棄物含む）」 検討対象「キャラクタリゼーション（廃棄物管理のための）」 課題「 <b>性状把握</b> 」	
ニーズ		望ましい状態とその理由	（参考）関連する研究課題
1	分析手法の簡素化、迅速化を図りたい	●今後の廃止措置におけるデブリ取り出しや解体等により、多種多様な廃棄物が大量に発生することになる。その廃棄物の処理方法の選定等を迅速に行うことは、廃止措置工程全体の短縮化につながるため、分析手法の簡素化・迅速化が望まれる。	廃炉・汚染水対策事業「固体廃棄物の処理・処分にに関する研究開発（先行的処理手法及び分析手法に関する研究開発）」 廃炉・汚染水対策事業「固体廃棄物の処理・処分にに関する研究開発」
2	核種分析技術を高度化、開発したい	●放射性廃棄物の安全な処理・処分のためには、多種多様な核種分析が必要であり、試料量の微量化や分析操作の迅速化、精度向上といった既存の分析技術の高度化、新たな分析技術の開発が望まれる。	課題リスト10/12「難測定核種等迅速分析技術開発」
関連する課題		○「基礎・基盤研究の全体マップ（詳細版）」にて、本課題と矢印で結ばれた課題は関連する課題です。ご参照ください。 ○また、「処理・処分・環境回復（燃料デブリに由来する $\alpha$ 核種が含まれる廃棄物含む）」及び「処理・処分・環境回復（燃料デブリに由来する $\alpha$ 核種が含まれる廃棄物含む）」と、「汚染水対策」、「使用済燃料プールからの燃料取り出し」、「燃料デブリ取り出し」、「PCV/RPV/建屋の解体」を結ぶ「キャラクタリゼーション（廃棄物管理のための）」も、本課題と関連する課題です。ご参照ください。	